

# フジイコーポレーション

## 特殊鋼板加工技術を確立

逐次張り出し成形

### 大型マシンニングセンター導入

フジイコーポレーション 試作、量産部品への活用を図る。

市、社長・藤井大介氏

は26日、鋼材事業(兼市物流センター)で逐次張り出し成形の研究を完了したを発表した。

導入した設備は新日本工機のRB-4M高速マルチセンター。加工テーブルのサイズは2

×4メートル。①試作品の金型を製作②工技総研から技術供与を受け自社設計した専用治具の上に金型を置き、鋼板を

「(鋼板の)逐次張り出し成形」で自社の乗用草刈り機の部材を試作し、工技総研から工法、治工具、試作品を評価された。今後ノウハウを蓄積し、様々な

同社はこれまで多品

種少量生産対応のタイドロミテ成形(複数部

品を1度に成形)を確

立してきた。新たな試

作向け設備の導入は社

内の生産体制効率化、受注対応力強化につながる。

今回の逐次張り出し成形の導入によって試作品製作までのコストが約9割削減、同リードタイム9割短縮を想定している。

この研究は「15年度補正ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」を活用し実施した。



大型マシンニングセンターを導入